

ウクライナ問題に見るロシアの国際戦略

NHK解説委員・元モスクワ支局長

石川 一洋
いしかわ いちやう

- * したたかなアメリカの企業
- * 日本を重視しているロシア
- * ブーチン最側近、セーチン・ロスネフチ社長
- * ロシアが中国よりも日本を選ぶ理由
- * 日本企業の消極的な参加姿勢の背景
- * ウクライナ危機から派生する日本への“脅威”
- * 歴史的正当性論議は日本にプラス
- * 日ロ関係のキーマンとなるセーチン
- * 重要な日本のウクライナ支援
- * 北方領土とウクライナは別問題



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は皆さんご存じのNHKの解説主幹をされております石川さんにおいでいただきました。2002年から2007年までモスクワ支局長をされ、その後、解説委員、解説主幹をされているわけでございます。ウクライナの問題、エネルギーの問題等々、日本でも日ロ関係への関心はたいへん高いのですが、石川さんは今日モスクワからこちらへお帰りになったばかりで、皆さんは、まだテレビ等で聞いていないお話を今日初めてお聞きになるという幸運に恵まれたわけです。

それでは石川さん、よろしくお願ひいたしました。（拍手）

石川 先ほど成田に着きまして、ちよつとむ

さぐるしい格好で申しわけありません。

先月から今月と2回、モスクワ、サンクトペテルブルクのほうで開かれたエネルギー関係の会議に参加する機会がありました。その最新の話を中心に進めていきたいと思ひます。

私はご紹介にありましたように、2002年から2007年までNHKのモスクワ支局長を務めさせていただきました。その前にも1992年から1996年までモスクワ支局の特派員として務めさせていただきました。その前、89年ごろから、ソビエト連邦崩壊というようなくも1年の大部分をソビエト、ロシア出張ということで、かれこれ24〜25年、ロシア、ソビエト関係を取材してまいりました。